

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	当院における Extended Sleeve Resection 含む気管支形成術後の周術期成績と予後の検討
	研究対象者	悪性肺腫瘍または気管支腫瘍と診断された患者さんのうち、2010 年 1 月から 2025 年 3 月の間に神奈川県立がんセンター及び下記の共同研究機関で手術治療を受けられた方
	研究目的	局所進行肺癌に対する手術において、片肺全摘を回避し、肺機能温存するために気管支形成術が用いられることがある。近年、局所進行肺癌に対して術前免疫併用導入治療の有効性が示され、拡大手術が増加傾向にある。 当院では以前より気管支形成術を多く行っているが、気管支形成術自体は年間全肺癌手術の 1 % 以下であり、改めて治療成績の検討が必要と考えている。 今回、当院で気管支形成術を受けられた方の治療前後の経過を診療録を用いて調査し、気管支形成術が安全に行われているかどうか、その後の経過を検討することを目的とした。
	研究方法	電子カルテから診療経過や画像所見、病理所見などの情報を収集する。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 5 年 9 月 8 日 ～ 西 暦 2 0 2 7 年 1 2 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[✓]総長が研究実施を許可した日 [] 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載:_____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載:_____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[] 生年月日、[X]性別、[X]既往歴、[X]併存疾患、[X]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、 [] ゲノムデータ、[X]看護記録、[]その他(具体的に記載:_____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	呼吸器外科 菅野 千晶
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター 呼吸器外科 菅野 千晶 045(520)2222(代表) 利用停止のお申し出は 2025 年 10 月 1 日までお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります